

韓国で口蹄疫（O型）発生!!

26-12

H26.7.25

平成26年7月23日、1,500頭を飼養する養豚場で約200頭に蹄の脱落、水疱等の症状がみられ、口蹄疫（O型）と確定しました。
平成23年4月21日の最後の発生以来3年3か月ぶりの発生となります。

2014年7月24日10時40分現在

韓国における口蹄疫の発生状況
(2014年7月23日～、O型)



口蹄疫ウイルスは
摂氏50℃以上の温度で破壊され、
強酸（pH6以下）や強アルカリ（pH9以上）で
簡単に感染性を失います。

※強酸と強アルカリは同時に使用しない!!
＜強酸＞
複合塩素系（ビルコン、ワープアウト）
＜強アルカリ＞
消石灰散布、4%炭酸ナトリウム溶液
2%水酸化ナトリウム溶液

● : 発生地
○ : 済州道
※ 日付は申告日
※ 出典：韓国農林畜産食品部

口蹄疫ウイルスの水疱等の症状が確認された場合、農場への侵入時期は通常1～2週間前です。来場者の記帳に心掛けましょう!!

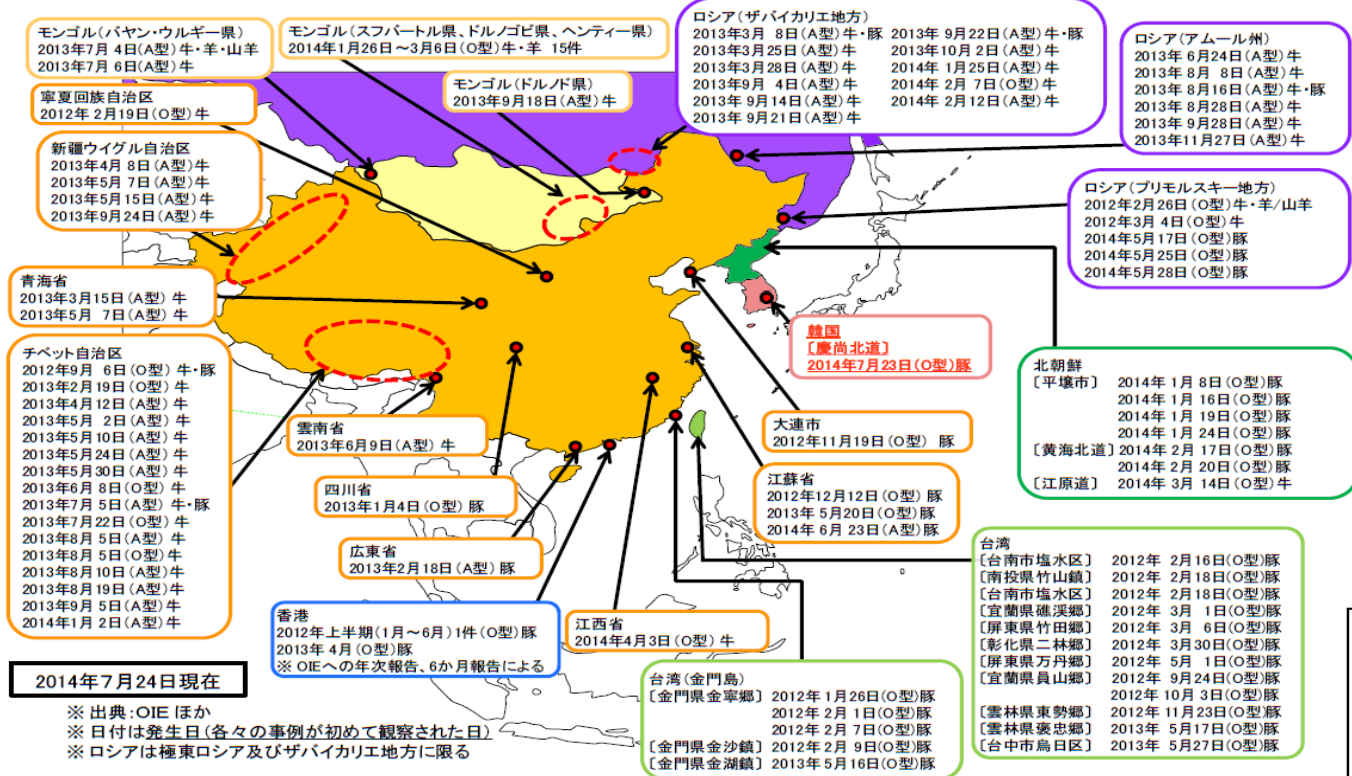
- 飼養衛生管理基準の再徹底—侵入防止が重要です!!—
特に人及び車両の出入りの際の消毒等の徹底しましょう。
- 発生国への渡航自粛
- 口蹄疫を疑う場合には、早く通報!!
土日・祝日も通報を受け付けます。

0574-25-3111

守衛に緊急事例である旨を伝えると家保職員につながります。

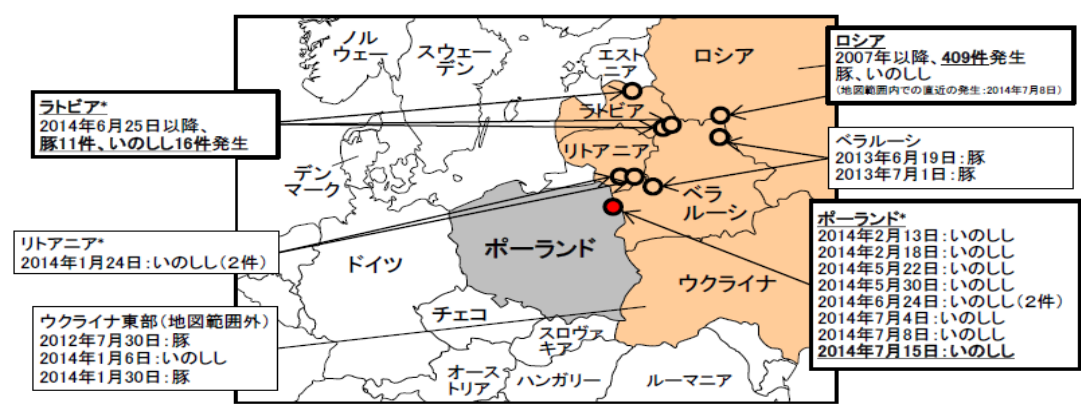
【近隣国での口蹄疫発生状況】

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2012年1月以降の発生）



参考資料 2

日本への侵入の恐れがある アフリカ豚コレラの海外での発生状況 ポーランド周辺におけるアフリカ豚コレラの発生状況



* EU加盟国
 ※ 日付は発生日又は検体回収日に基づく

2014年7月21日現在

○ 養豚農家の皆様へ
 ロシア、東ヨーロッパでは豚、イノシシで継続発生しています。本病も豚コレラと同じ殺処分・焼埋却されます。十分、注意をお願いします。

●野生動物からの病原体侵入防止対策を徹底しましょう!!